

令和7年度（第65回）郷土民謡民舞全国大会



▶民舞グランプリの部 準優勝 秋田生保内支部 藤原ミサ子社中（藤原舞香 藤原那美 高橋心晴 鈴木夢夏 鈴木美音 鈴木理音 熊谷優香 八柳凜星）

11月14日から16日まで、さいたま市文化センターで開催された、令和7年度（第65回）郷土民謡民舞全国大会に藤原ミサ子社中が出場。民舞「秋田甚句」を披露し、民舞グランプリの部で準優勝を収めました。

武心会 角館本部道場所属の4人が空手道全国大会に出場



写真左から新田淳仁さん、高橋凜さん、新田悠仁さん、湯澤蓮さん。

【文部科学大臣杯第19回 JKJO 全日本ジュニア空手道選手権大会】（令和7年11月開催）

▶予選大会 東北地区代表選抜大会 中学1年男子 52kg 未満の部 代表権獲得 新田淳仁（角館中1年）

▶予選大会 東北地区代表選抜大会 中学2～3年女子 50kg 以上の部 代表権獲得 高橋凜（西明寺中3年）

▶予選大会 東北地区代表最終選抜大会 高校男子 70kg 未満の部 優勝 新田悠仁（角館高1年）

【第8回 W・K・O ジャパンアスリートカップ】（令和8年3月開催）

▶予選大会 オープントーナメント七海杯 2025 中学2年男子 55kg 未満の部 優勝 湯澤蓮（角館中2年）

第24回秋田県歯科保健大会



▶臼井記念歯科保健功労賞表彰 ひのきないこども園 だしのご園 にこにここども園 角館こども園 神代こども園 仙北市立白岩小百合保育園 仙北市立角館西保育園

市内のこども園・保育園において、虫歯予防のために年長児を対象として実施しているフッ化物洗口の取り組みが評価され、受賞となりました。

この取り組みは、市内の園児の歯と口の健康を守ることを目的として、10年以上にわたり継続して行っているものです。

栄光・表彰 ～輝くとき



各分野で活躍された皆さまをご紹介します



（敬称略）

第54回マーチングバンド・バトントワーリング東北大会



▶マーチングバンド部門 小学生の部 金賞 角館小学校マーチングバンド部 “Dream Harmony”

11月8日と9日に宮城県利府町のグランディセキスイハイムスーパーアリーナで開催された、第54回マーチングバンド・バトントワーリング東北大会に角館小学校マーチングバンド部 “Dream Harmony” が出場。見事金賞に輝き、12月6日にさいたま市で開催された全国大会に駒を進めました。東北大会での金賞獲得は3年連続の快挙です。全国大会でも力を合わせて見事な音色を奏で、見事銀賞に輝きました。

第48回児童生徒県南美術展

※掲載は市内小・中学生のみ。



今年で48回目となる児童生徒県南美術展が角館町平福記念美術館で開催され、次の方々が受賞されました。

仙北市長賞 ▶さとうゆうじろう（西明寺小1年）▶鈴木花梨（生保内中3年）

仙北市議会議長賞 ▶高橋凜（西明寺中3年）

仙北市教育委員会教育長賞 ▶田村菜緒（角館中2年）

角館町平福記念美術館長賞 ▶浅利泉吹（桧木内中1年）

第5回秋田県年金ポスターコンクール



▶優秀賞 田村菜緒（角館中2年）

日本年金機構、秋田県内4年金事務所主催の第5回秋田県年金ポスターコンクールで角館中の田村菜緒さんの作品が優秀賞に選ばれました。

田村さんの作品は、オリジナルキャラクターを考えて、年金が高齢者の暮らしを支えている様子を描いた点が評価され、今回の受賞となりました。

このコンクールは、県内の中学生を対象に、年金をテーマとしたポスターを作成してもらうことで、公的年金を身近に感じ、関心を持ってもらうことを目的に実施されています。

2025年に実施された農林業センサスに多大な貢献をしたとして、統計調査員の菅原義夫さんが農林水産大臣表彰を受賞されました。菅原さんは1990年に実施された農林業センサスで、はじめて統計調査員として活動して以降、長年にわたり国勢調査など多くの統計調査に従事してきました。統計調査員としての活動中は、統計調査への理解と協力を得られるよう、地域のみなさまに積極的な働きかけを行うなどほかの統計調査従事者の模範となり、また、地域と行政をつなぐ存在として円滑な統計調査実施に大きく貢献されました。

2025年農林業センサス功績者 農林水産大臣表彰

角館こども園にクリスマスツリーを寄贈いただきました。

11月28日、角館こども園に秋田スギのクリスマスツリーが届けられました。

この取り組みは、(公財)秋田県林業公社と(公社)秋田県緑化推進委員会が、県内の幼稚園などに秋田スギの間伐材を活用したツリーを贈る事業の一環で、平成10年度から続き、今回で28回目を迎えます。仙北市の園で贈呈式が開催されるのは今回が初めてで、約160人の園児たちは、約2メートルの本物のスギのツリー2本やリースの登場に、目を輝かせていました。会場には、角館こども園のキャラクター「そだっち」と秋田県PRキャラクター「んだッチ」も加わり、子どもたちと一緒に場を盛り上げました。

園にはツリー2本のほか、リース2個、林業にまつわる折り紙作品、駄菓子も贈られました。クリスマススの楽しい雰囲気の中で、子どもたちが秋田スギや森の恵みに触れ、「森林や自然環境を大切にする心」や「地元の木への親しみ」を育むきっかけとなる行事となりました。



クリスマスツリーの前で記念撮影。



市ゆかりの文学者を後世へ
仙北市文学顕彰碑 除幕式

11月26日、総合情報センターで仙北市文学顕彰碑の建立を記念した除幕式が盛大に執り行われました。式には、顕彰碑寄贈者である河正雄氏をはじめ、顕彰作家の遺族など、関係者約40人が列席しました。

河氏は「4人もの芥川賞・直木賞作家を生んだこの地に、改めて光をあてることで、次代を担う子どもたちはもとより、文学の道を志す若者や愛好家にとって文学の拠点となっていくことを願っています」と話しました。

開いた本をかたどった顕彰碑は、高さ約2m、幅約3mで、芥川賞受賞作家である高井有一氏、直木賞受賞作家である渡辺喜恵子氏、千葉治平氏、西木正明氏の名前とその功績が刻まれています。

第47回全国視覚障害者将棋大会

▶ S級の部 準優勝 荒川光晴



11月22日と23日に東京都で行われた第47回全国視覚障害者将棋大会で荒川光晴さんがS級の部で準優勝しました。

この大会は、全国の視覚障がいのある将棋愛好家約50人が参加し、S級からC級まで4部門に分かれて交流を深めながら対局するものです。

荒川さんはこのほかにも、長崎県雲仙市で開催された全日本視覚障害者囲碁大会でも雲仙市長賞に輝いています。

令和7年度仙北市民生児童委員協議会 表彰状伝達式



12月12日、令和7年度仙北市民生児童委員協議会表彰状伝達式が西木温泉クリオンで行われ、次の方々が受賞されました。

永年勤続単位民児協会会長表彰 ▶ 高藤孝子
永年勤続単位民児協役員表彰 ▶ 桃園豊弘
民生委員・児童委員功労者表彰 ▶ 佐々木裕子 ▶ 鈴木重恵
▶ 鈴木順子 ▶ 橋貞子 ▶ 戸澤裕一 ▶ 西宮久子 ▶ 戸澤一子
永年勤続民生委員・児童委員表彰 ▶ 小野喜一 ▶ 渡辺由美子 ▶ 坂本満子
社会福祉功労者に対する知事表彰 ▶ 戸澤裕一

角館高等学校が 師範大学附属高級中学と 台北市で学校交流

昨年度に引き続き、秋田県立角館高等学校の生徒5人が、12月4日から3泊4日の日程で台北市を訪問し、平成27年に姉妹校提携を結んだ師範大学附属高級中学の生徒と学校交流を行いました。

4日に台北市へ到着後、師大高中生徒宅にホームステイを行いました。5日は、授業に参加して現地の高校生活を体験。6日には、師大高中生徒の皆さんの案内で台北市内の名所を視察しました。

実際に台湾現地を訪れた角館高校2年生の田中絢菜さんは「台湾の姉妹校を訪れ、互いの文化に触れながら楽しい時間を過ごし、案内してくれた生徒のおかげで多くの学びと温かい思い出を得ました」と話しました。



10月には、師大高中生徒32人が角館高校に來校し、学校交流を行っています。

税についての作文

全国納税貯蓄組合連合会・国税庁主催、仙北市共催で募集していた中学生の「税についての作文」で、伊藤悠真さん（西明寺中3年）の作品「僕から見た税金」が、仙北市長賞を受賞しましたので、全文をご紹介します。また、佐藤陸さん（角館中1年）が大曲仙北間税会会長賞を受賞しました。

僕は少し前まで大人と子供を比べ、大人の方が圧倒的に税と関わる機会が多いと思っていました。しかし、「消費税」が税金の主な収入になっていることと「教育費」が税金で支払われていることを知った今では、僕が気にしていなかっただけで子供でも大人と同じくらいに税と関わる機会があるのかもしれないと思うようになりました。

税とは国や社会を支える上で重要となる仕組みと聞いたことがあります。この税は使われ方が様々なため、国民一人一人に税に対する考え方や捉え方があると思います。そこで中学生の僕としての税とは何かを考えてみたいと思いました。

資料やネットを用いて税に関することを調べた結果、主な税金の収入は、「消費税」「所得税」「法人税」ということが分かりました。僕たち中学生に一番身近な「消費税」があったため、少しでも貢献できていると実感できます。

そして、これらの税で集められたお金の約三分の一は社会保障というものに当てられるそうです。この社会保障についてさらに詳しく調べたところ、「医療費」や「教育費」などの公共施設と公共サービスにかかる費用が税金で支払われていると知りました。

「僕から見た税金」



伊藤悠真さん
(西明寺中3年)

税に関して調べているうちに僕は新たな疑問を得ました。それは、なぜ近年税金が高くなってきたのかというものです。この疑問についても調べてみたところ、税金が高くなった主な原因としては、「少子高齢化」が進み社会保障にかかるお金が増えてきているからとのことでした。少子高齢化が進むことはつまり、働くことができないう高齢者の割合が増え、働きの割合が減っていくことになるため、一人一人の税金は高くなっていきます。このままだと税金によって生活が苦しくなってしまうかもしれないため、この問題を解決する政策が求められていると思います。

これらのことを調べて僕は、税とは社会を支えるために欠かせない仕組みだと考えるようになりました。国民全員が税を負担することで、公共施設や公共サービスにかかる費用が税によって支払われ、安心して国民が暮らせる環境が整います。また、税を通じて互いに助け合い、支え合うことで公平で温かい社会が実現できていると思います。国民の一人一人が税金の大切さを理解し、積極的に協力することで全ての人が不自由なく笑顔で暮らせるはずです。みんなで力を合わせてこれからもよりよい社会になってほしいです。そして、僕も国民の一人としてこれからは税の仕組みと重要性を十分に理解し、税と関わっていききたいです。

税に関する習字

仙北市主催で募集していた小学生の「税に関する習字」で、受賞した方を次のとおり紹介します。※氏名の表記は原文のまま掲載しています。(敬称略)



梁田いちほさん
(西明寺小5年)

最優秀賞

入選おめでとうございます

- ◆金賞
 - ◆小松凜 (角館小5年)
 - ◆さいとう雪花 (角館小4年)
 - ◆すずきひなの (角館小1年)
- ◆銀賞
 - ◆齋藤こども (角館小6年)
 - ◆八柳悠太郎 (角館小5年)
 - ◆佐とう雅毘 (角館小4年)
 - ◆梁田にこ (西明寺小3年)
 - ◆かとうすず (角館小1年)
- ◆銅賞
 - ◆小林華果 (生保内小6年)
 - ◆高橋凜名 (神代小5年)
 - ◆伊東由莉 (松木内小5年)
 - ◆さわ口結菜 (角館小4年)
 - ◆畠山あい (西明寺小4年)
 - ◆さいとうすず (西明寺小3年)

第23回あきたふるさと手作りCM大賞 元地域おこし協力隊 佐藤成真さんが 審査員特別賞

秋田朝日放送（AAB）が主催する「第23回あきたふるさと手作りCM大賞」で、元地域おこし協力隊で仙北市在住の佐藤成真さんの作品「パンパンドカーン」が審査員特別賞を受賞しました。

12月9日、市役所田沢湖庁舎で伝達式が行われ、AABの萩原力取締役から佐藤さんにトロフィーが、田口市長には副賞の目録が手渡されました。

佐藤さんは「たくさんの方に協力をしていただいたおかげで受賞することができ、ホッとしています。これからもクリエイティブな方法で仙北市を盛り上げていければと思っています」と、受賞の喜びと感謝の言葉を話しました。



今回受賞したCMの副賞として、年間50本のCMがAABで放送されます。またAABホームページやYouTubeのAAB公式チャンネルで公開されていますのでぜひご覧ください。

佐藤さんが制作したCMはこちらからご覧ください。



おめでとうございます

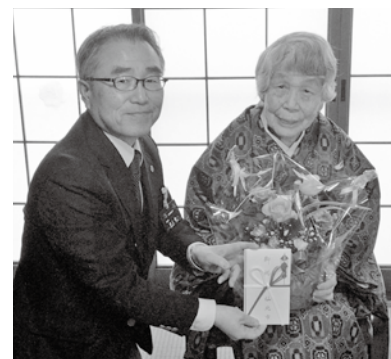
次の方々が100歳の誕生日を迎えられ、仙北市からお祝いが送られました。



黒澤ツマ子さん
(角館町山谷川崎)
11月9日生まれ



大澤ユキさん
(角館町歩行町)
11月16日生まれ



小室ヨシミさん
(田沢湖生保内)
11月19日生まれ